



【特許出願中】音質を高く保ちながら、ギター・ベースのネックとボディとの接合強度を強くすることができる”小菊ロジック”を発表

ギターリペア及び製造を運営する株式会社ハイエンドミュージック（代表取締役社長：八田聡 以下「当社」）は、オリジナルギターブランド「Infinite」に対し独自開発を行った「小菊ロジック」の特許を出願しましたことをお知らせいたします。

■技術やアイデアで

最高の木材を使って製作することは我々小規模の工房では非常に困難です。また安定供給することも非常に困難です。当社は原点に立ち返り、木工技術、組み込み技術、またアイデアでカバーできないかと研究開発を行いました。はじめに日本の文化、歴史、誇り、日本から海外へ伝えたい技術。このキーワードの先に見えたのは「宮大工」でした。宮大工の歴史と、ギター製造の歴史をうまく一つにできないか、何度も失敗を重ねようやく形にすることができました。それは音質を高く保ちながら、ネックとボディとの接合強度を強くすることが可能な技術となり、従来のギター製作では用いられていない工法です。それが当社が開発した「小菊ロジック」です。

■小菊ロジックとは



小菊ロジック

ネック側の三本の凸とボディ側の三本の凹が、がっちりとかみ合うことで豊かなサスティーンが得られます。またボルトジョイントの弱点である衝撃などによるセンターズレが一切出ず、安定した状態をキープします。

この技法は日本の宮大工の「小菊」という加工法に着想を得たことから、「小菊ロジック」と名付けました。

本件に関するお問い合わせ

株式会社ハイエンドミュージック 554-0014 大阪府大阪市此花区四貫島 2-9-13

TEL : 06-4256-8224 E-mail : hatta@12msic.com